

微量物質分析フォーラム

～食品安全・環境評価を支える高度分析技術の最前線～

近年、食品安全への関心の高まりや環境規制の強化を背景に、食品・環境分野における微量物質分析の重要性が増しています。さらに、PFAS、農薬、ダイオキシン、動物用医薬品、アレルゲン、ニトロソアミン類など分析対象の多様化や低濃度化が進む中、高感度・高精度かつ効率的な分析技術へのニーズが一層高まっています。

本フォーラムでは、食品・環境分野で分析業務に携わる皆様を対象に、微量物質分析に関する最新の技術動向や分析ソリューションをご紹介します。実際に当社製品をご活用いただいているユーザーの皆様をお招きし、分析業務の高度化や課題解決に向けた取り組み、実践的な活用事例をご講演いただきます。

食品と環境という異なる分野の知見や経験を共有しながら、日々の業務に役立つ新たな視点やヒントを得ていただける貴重な機会です。さらに、講演者と参加者の皆様との情報交換の場もご用意しておりますので、知見の拡大やネットワーク構築の機会として、是非ご参加ください。

- **日時** 2026年 11月 25日（水）東京コンファレンスセンター・品川（定員 90 名）
フォーラム 10:00～16:50 ※開始時刻の 30 分前よりご入場いただけます。
情報交換会 17:00～18:30
- **参加対象** 食品・環境分野の微量物質分析に携わる方、今後携わる方、微量物質分析の動向にご興味をお持ちの方
※ 競合製品を取り扱う会社の関連会社の場合、弊社の判断によりお申込をお断りする可能性がございます。
- **参加費** 無料
- **受付終了** 2026年 11月 18日（水）12:00 まで
定員に達し次第締切とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

招待講演

- **LC-MS/MS による市販スニーカー中 PFAS の濃度・組成解析**
国立研究開発法人産業技術総合研究所 山崎 絵理子 様
- **窒素キャリアガスを用いた APGC-MS/MS によるダイオキシン類の測定法**
埼玉県環境科学国際センター 竹峰 秀祐 様
- **Andrew+ を用いた残留農薬分析作業のセミオートメーション化**
株式会社ニッスイ 鈴木 賢一 様
- **残留農薬通知一斉分析法への APGC イオン化法の適応**
一般財団法人新日本検定協会 下川 祐太郎 様



* 掲載順はご発表順です。
* プログラムは予告なく変更される場合もございます。

プログラム

10:00～10:10	開会のご挨拶
10:10～10:55	タンデム四重極質量分析計を活用した微量物質分析ソリューションの紹介 日本ウォーターズ株式会社 永田 万理 複雑なマトリックス試料に最適な高感度・高堅牢性タンデム四重極質量分析計と、直感的な操作性で分析ワークフローを効率化する最新ソフトウェアを中心とした微量物質分析ソリューションをご紹介します。さらに、食品 PFAS や動物用医薬品分析などの最新分析事例に加え、APGC イオン源の特長や活用事例についても解説します。
10:55～11:35	LC-MS/MS による市販スキーワックス中 PFAS の濃度・組成解析 国立研究開発法人産業技術総合研究所 山崎 絵理子 様 スキーワックスに使用される PFAS は、その使用に伴う環境への放出が懸念されていますが、その含有濃度や組成に関する情報は限られています。本講演では、市販製品を LC-MS/MS により分析した事例を紹介し、製品間の濃度・組成の違いと、環境試料中の PFAS プロファイルを解釈する上での意義について解説します。
11:35～11:45	休憩
11:45～12:25	窒素キャリアガスを用いた APGC-MS/MS によるダイオキシン類の測定法 埼玉県環境科学国際センター 竹峰 秀祐 様 近年、国内では、ダイオキシン類の代替測定法の検討が進められています。その中でも、窒素をキャリアガスとして用いた APGC-MS/MS は、ダイオキシン類を高感度に測定できることが実証され、有力な代替測定法の一つとして注目されています。本講演では、窒素キャリアガスを用いた APGC-MS/MS によるダイオキシン類の測定法について、測定条件の検討、分析感度の評価および実試料への適用結果を中心に解説します。
12:25～13:30	休憩 昼食は弊社でご用意いたします。会場へ飲食のお持込はご遠慮いただいております。 昼食が不要な方は近隣の飲食店等をご利用ください。
13:30～14:10	Andrew+ を用いた残留農薬分析作業のセミオートメーション化 株式会社ニッスイ 鈴木 賢一 様 残留農薬分析では、前処理や分析バイアル調製に多くの手作業を要します。本講演では、Andrew+ を用いた分注・混合工程のセミオートメーション化事例を紹介し、作業時間の短縮や操作の標準化に加え、数値には表れにくい担当者負担の軽減効果と、導入上の課題を説明します。
14:10～14:55	最新の高分解能質量分析計と微量物質分析事例の紹介 日本ウォーターズ株式会社 安東 友繁 微量物質分析を可能にする高分解能質量分析計について、次世代の多重反射飛行時間型質量分析計 Xevo MRT P10 などの最新技術と、高分解能質量分析計を用いたアレルゲンタンパク質の網羅的分析から MRM 条件開発への展開、PFAS やマイクロプラスチックの分析事例についてご紹介します。
14:55～15:15	休憩
15:15～15:55	残留農薬通知一斉分析法への APGC イオン化法の適応 一般財団法人新日本検定協会 下川 祐太郎 様 高感度な APGC の特徴を活かし、厚生労働省通知に示された「GC/MS による農薬等の一斉試験法（農産物）」による抽出液を分取・精製した後、濃縮操作を省略する迅速な試験法を検討しました。本講演では、十分な試料採取量を確保しつつ、良好な測定結果が得られましたので紹介します。
15:55～16:40	LC-MS による微量物質分析を支えるサンプル前処理のご紹介 日本ウォーターズ株式会社 磯俣 亮 精度の高い分析を行うためには、適切なサンプル前処理が不可欠です。本講演では、PFAS やニトロソアミンを対象とした前処理例をご紹介します。併せて、使用される固相抽出製品や前処理解器具、分析カラムの特長を解説するとともに、試料の種類に応じた最適な前処理メソッドをご紹介します。
16:40～16:50	閉会のご挨拶
17:00～18:30	情報交換会

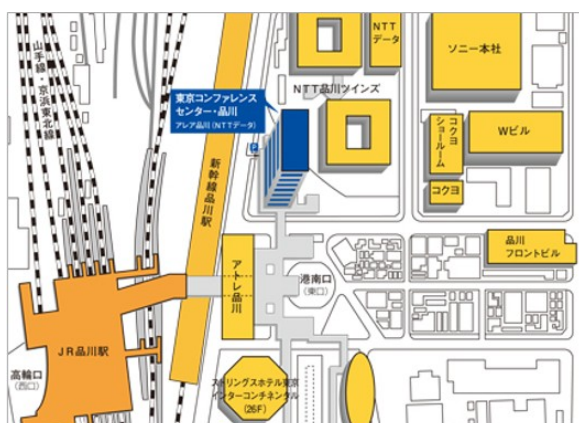
会場のご案内

東京コンファレンスセンター・品川 406

港区港南 1-9-36 アレア品川 4階

TEL : 03-6717-7000 (代)

【電車】JR 品川駅港南口（東口）より 徒歩 2 分



お申し込み手順

1. お申し込み こちらの URL よりお申し込みページへアクセスできます。

<https://bit.ly/fetaf>

必要事項をご入力の上、お申し込みください。※1

2. 「仮登録」の E メールが届きます ※3

お申し込み後、即日送信されます。

3. 「本登録」の E メールが届きます

通常 5 営業日以内に通知予定としております。

お申し込み QR コード



※1 ご登録はご所属機関のメールアドレスをお願いします。
各種ご連絡のメールが届かない可能性がありますので、
携帯電話のメールアドレスは対象外とさせていただきます。
フリーのメールアドレス（gmail など）もご登録できません。
システムの都合上、同一メールアドレスで複数申込者がいる
場合、情報登録はお一人様のみとなります。
ご参加の対象外（競合他社等）の場合、弊社の判断
によりお申込をお断りする可能性があります。
予めご了承ください。

※2 メールが届かない場合は

jp_info@waters.com または TEL:03-4578-9688

（マーケティングコミュニケーション）までお問い合わせください。

お問い合わせ先：日本ウォーターズ株式会社 マーケティング本部 微量物質分析フォーラム係 TEL：03-4578-9688

日本ウォーターズ株式会社

www.waters.com

東京本社

〒140-0001
東京都品川区北品川1-3-12 第5小池ビル

大阪支社

〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル11F